

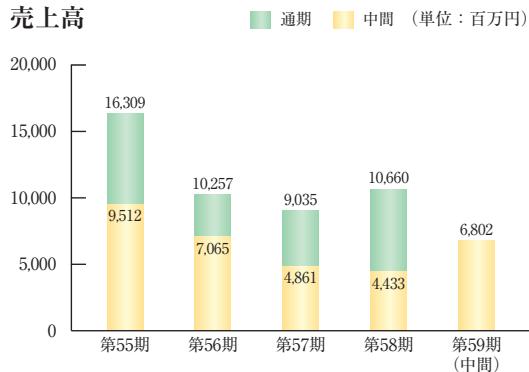
BUSINESS REPORT 2015

第59期 中間報告書
2014.4.1～2014.9.30

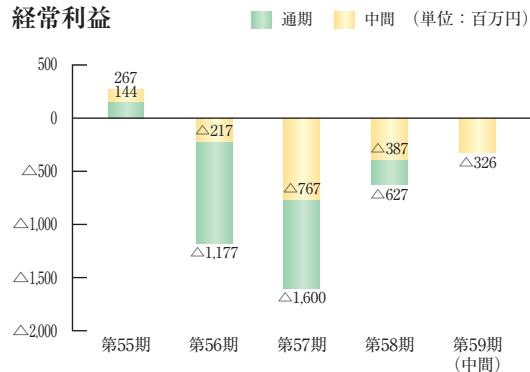
株式会社**田中**化学研究所

財務ハイライト

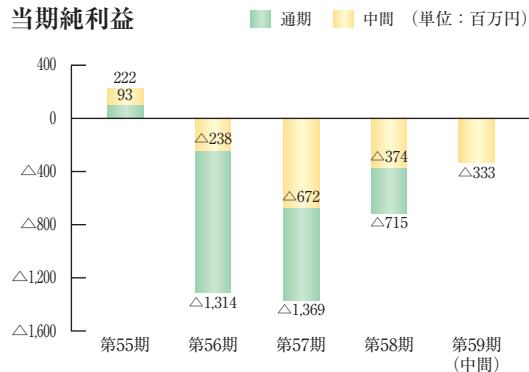
売上高



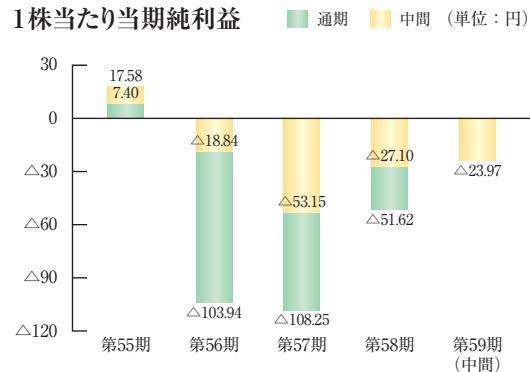
経常利益



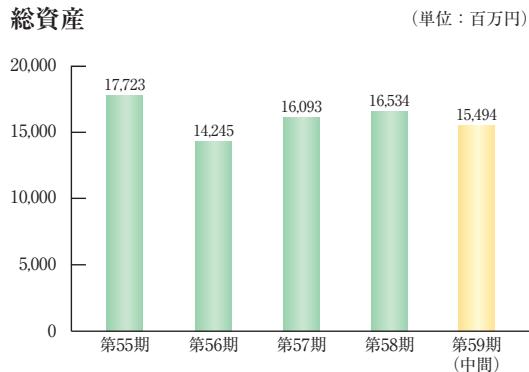
当期純利益



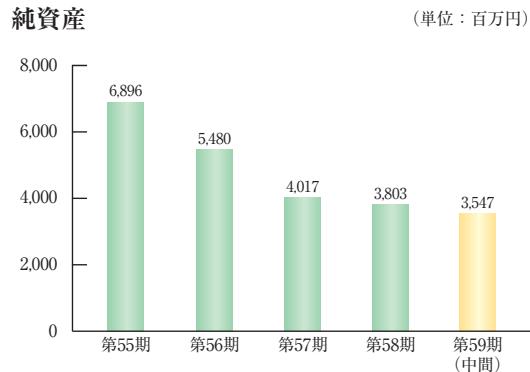
1株当たり当期純利益



総資産



純資産



株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第59期中間期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の事業の概況及び中間決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成26年11月

株式会社田中化学研究所
代表取締役 社長執行役員

田中 保

事業の概況

当中間期における二次電池業界は、中長期的には環境対応車用途や住宅用途への需要拡大が期待されておりますが、当初期待より本格化時期が遅れており、足許の主流は未だ民生用途になっております。当社の販売数量は98%以上を二次電池用正極材料が占めているため同電池市場への販売動向が当社の業績には大きく影響いたします。

民生向け用途においては、電動工具などの用途拡大による好調な面がありましたが、スマートフォンを含む携帯電話の伸張率低下や基本ソフトサポート終了に伴うノートパソコンの買い替え需要が一段落したこともあり、全体としては成長率が低下しております。一方、環境対応車向け用途においては、順調に拡大してきたハイブリッド自動車当初の想定よりも低調な状況となっております。

このような市場環境の中、当中間期における当社の販売数量は、民生向け新規顧客獲得、民生向け新規用途への展開及び環境対応車向け事業展開により前年同期比29.2%の増加となりました。売上高は、環境対応車向け製品の販売数量の増加が大きく寄与して、前年同期比53.4%の増加となりました。

民生向け製品に関しては当中間期後半に上記記載のアプリケーション動向を受けた主力顧客からの大幅な在庫調整の影響を受けて著しく減少しました。そのような状況下で新規顧客への新製品販売や

新規用途への販売展開の取り組みもあり、リチウムイオン電池向け製品の販売数量は前年同期比64.9%の増加となりました。一方、環境対応車向け製品に関しては、ハイブリッド自動車の停滞影響を受けて前年同期比10.9%の増加に留まりました。

電池別に説明しますと、ニッケル水素電池向け製品に関しては環境対応車向けが下支えになっておりますが、民生用途が低調に推移しているため、販売数量は前年同期比19.1%の減少となりました。リチウムイオン電池向け製品は、上記記載の民生向け用途及び環境対応車向け用途の動向を受けて、前年同期比76.5%の増加となりました。

以上のように、当中間期においては販売数量の回復に起因する売上高の増加は見られましたが、収益面については継続的な新興国正極材料メーカーとの価格競争や製品のプロダクトミックスの変化、先行投資を行った製造設備の減価償却負担増により厳しい状況は続いております。厳しい環境下ではありますが、当社としましては、環境対応車向け正極材料に代表される高機能性製品の事業拡大、新規顧客の獲得及び合理化、コスト削減策などの戦略を進めることにより収益改善に取り組んでまいります。

以上の結果、売上高6,802百万円（前年同期比53.4%増）、営業損失198百万円（前年同期は営業損失310百万円）、経常損失326百万円（前年同期は経常損失387百万円）、中間純損失は333百万円（前年同期は中間純損失374百万円）となりました。

【ご参考】

（ニッケル国際相場：円換算）

（単位：円/kg）

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
27年3月期	1,904	1,948	—	—
26年3月期	1,491	1,392	1,410	1,519
25年3月期	1,393	1,301	1,396	1,616

（コバルト国際相場：円換算）

（単位：円/kg）

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
27年3月期	3,230	3,488	—	—
26年3月期	2,950	3,076	2,874	3,253
25年3月期	2,666	2,360	2,255	2,556

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均

コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

財政状態の状況

当中間期末における総資産は前事業年度末比1,039百万円減少し、15,494百万円となりました。

その主な要因は、売上債権が428百万円、有形固定資産が573百万円減少したことによるものであります。負債は、前事業年度末比783百万円減少の11,946百万円となりました。その主な要因は仕入債務が386百万円、長期借入金が267百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、中間純損失を計上したこと等により前事業年度末比256百万円減少の3,547百万円となり、自己資本比率は22.9%となりました。

なお、平成26年6月20日開催の定時株主総会の決議により、資本剰余金715百万円を利益剰余金に振り替えて欠損補填を行っております。これによる純資産額の変動はありません。

キャッシュ・フローの状況

当中間期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して127百万円増加し、当中間期末における資金は、3,571百万円となりました。

当中間期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、580百万円の増加（前年同期は585百万円の減少）となりました。これは主に税引前中間純損失329百万円に対し、減価償却費691百万円、運転資本の減少による資金の増加66百万円等があったためであります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、199百万円の減少（前年同期は66百万円の減少）となりました。これは補助金の収入5百万円に対し、設備投資を中心とする有形固定資産の取得による支出219百万円があったためであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、268百万円の減少（前年同期は394百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出267百万円があったためであります。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期 (平成26年3月31日現在)	当中間期 (平成26年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,522,299	7,980,969
現金及び預金	3,444,485	3,571,971
受取手形及び売掛金	2,529,190	1,234,737
電子記録債権	118,632	984,903
商品及び製品	749,027	628,396
仕掛品	919,068	916,927
原材料及び貯蔵品	470,339	568,442
その他	291,554	75,590
固定資産	8,012,126	7,513,549
有形固定資産	7,747,494	7,173,968
建物（純額）	1,725,321	1,659,347
機械及び装置（純額）	4,463,365	3,877,013
その他（純額）	1,558,808	1,637,607
無形固定資産	17,382	17,081
投資その他の資産	247,248	322,498
その他	247,700	322,949
貸倒引当金	△ 451	△ 451
資産合計	16,534,425	15,494,518

科目	前期 (平成26年3月31日現在)	当中間期 (平成26年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	4,527,884	3,974,648
支払手形及び買掛金	3,406,330	3,019,667
1年内返済予定の長期借入金	534,999	483,999
未払法人税等	10,809	6,970
引当金	48,394	46,837
その他	527,350	417,173
固定負債	8,202,922	7,972,349
長期借入金	8,001,125	7,784,625
引当金	59,953	26,411
その他	141,843	161,312
負債合計	12,730,807	11,946,997
(純資産の部)		
株主資本	3,752,756	3,439,447
資本金	2,300,621	2,300,621
資本剰余金	2,169,202	1,454,150
利益剰余金	△ 715,052	△ 313,309
自己株式	△ 2,015	△ 2,015
評価・換算差額等	50,861	108,073
その他有価証券評価差額金	66,226	115,537
繰延ヘッジ損益	△ 15,364	△ 7,464
純資産合計	3,803,617	3,547,520
負債純資産合計	16,534,425	15,494,518

損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,433,601	6,802,115
売上原価	4,084,875	6,328,391
売上総利益	348,725	473,723
販売費及び一般管理費	658,950	672,172
営業損失（△）	△ 310,225	△ 198,448
営業外収益	19,286	13,577
営業外費用	96,113	141,334
経常損失（△）	△ 387,052	△ 326,205
特別利益	165,224	58,544
特別損失	149,516	62,110
税引前中間純損失（△）	△ 371,344	△ 329,771
法人税、住民税及び事業税	3,246	3,155
法人税等調整額	△ 510	222
中間純損失（△）	△ 374,080	△ 333,149

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 585,898	580,568
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 66,021	△ 199,282
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	394,478	△ 268,712
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,872	14,912
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 255,568	127,486
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,224,108	3,444,485
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,968,539	3,571,971

会社概要（平成26年9月30日現在）

商 号	株式会社田中化学研究所
設 立	昭和32年12月
資 本 金	2,300,621千円
主な事業内容	当社は、二次電池用の正極材料ならびに金属表面処理・触媒用薬品の製造販売を主な事業としております。
従 業 員 数	178名（前事業年度比2名減）

役員 の 状 況（平成26年9月30日現在）

代表取締役社長執行役員	田 中 保
取締役常務執行役員	茂 莉 雅 宏
取締役執行役員	嶋 川 守 雄
取 締 役	久 野 和 雄
常 勤 監 査 役	上 野 學
監 査 役	増 田 仁 視
監 査 役	篠 原 芳 明

株 式 の 状 況（平成26年9月30日現在）

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
 ②発行済株式の総数 普通株式 13,900,800株
 ③株 主 数 7,074名
 ④大株主の状況（上位10名）

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
田中 保	1,264,200	9.09
住友化学株式会社	1,250,000	8.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	460,000	3.31
田中 浩	390,000	2.81
株式会社福井銀行	300,000	2.16
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	263,100	1.89
住友商事株式会社	250,000	1.80
住友生命保険相互会社	210,000	1.51
田中 学	171,000	1.23
田中 健	171,000	1.23

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel : 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.tanaka-chem.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご案内



田中化学研究所ホームページ
<http://www.tanaka-chem.co.jp/>
最新の当社IR情報等をご覧ください。

お知らせ

株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。